

# 環境ニュース（土幌町環境マネジメントシステム）

～ 環境に優しい土幌町を目指して ～

22号

ここでは役場で行っている環境マネジメントシステムの内容や取り組みについて紹介します。

6月21日、平成23年度土幌町環境マネジメントシステム独自目標監査及び平成24年度独自目標設定委員会が開催されました。

## ○平成23年度監査結果

| 独自目標 |                                                     |      | LAS-E規格項目別評価 |      |
|------|-----------------------------------------------------|------|--------------|------|
| 番号   | 内容                                                  | 達成状況 | 視点（項目番号）     | 評価   |
| D101 | 温室効果ガスH20年度比 1%減                                    | 未達成  | エコアクション      | 概ね良好 |
| D102 | 電気使用量H20年度比 1%減                                     | 未達成  |              |      |
| D103 | ノー・マイカー・デー月1回 実施率100%                               | 達成   |              |      |
| D104 | 廃棄物排出量H20年度比 1%減                                    | 未達成  |              |      |
| D105 | 公用車使用燃料H20年度比 1%減                                   | 達成   |              |      |
| D106 | 水道使用量H20年度 現状維持                                     | 達成   |              |      |
| D107 | LAS-E関係職員研修 年2回以上<br>・全体研修 1回<br>・実行責任者・マネージャー研修 1回 | 達成   | エコマネジメント     | 良好   |
| D108 | 各課LAS-E取組内容の確認 月1回                                  | 達成   |              |      |
| D109 | 環境ニュース 年3回以上発行                                      | 達成   | エコガバナンス      | 良好   |

※9項目中6項目が目標達成し、3項目が未達成となりました。  
内容詳細は、次ページの所見をご覧ください。

## ○平成24年度独自目標

| 独自目標 |                   | 基準年度実績 |                | 目標値                          |
|------|-------------------|--------|----------------|------------------------------|
| D101 | 温室効果ガスH22比較 1%減   | 3,030  | t-CO2          | 2,999                        |
| D102 | 電気使用量H22比較 1%減    | 2,715  | Mwh            | 2,688                        |
| D103 | ノー・マイカーデー月2回      | 100    | %              | 100                          |
| D104 | 廃棄物排出量H22比較 1%減   | 16,239 | kg             | 16,077                       |
| D105 | 公用車使用燃料H22比較 2%減  | 31,930 | リットル           | 31,291                       |
| D106 | 水道使用量H22 2%減      | 49,189 | m <sup>3</sup> | 48,205                       |
| D107 | LAS-E関係職員研修年 2回以上 | 2      | 回              | 全体研修 1<br>実行責任者・環境マネージャー研修 1 |
| D108 | 各課LAS-E取組内容の確認    | —      | 回              | 月1回                          |
| D109 | 環境ニュース年 3回以上発行    | 3      | 回              | 3回以上                         |

※7月2日に新しい環境マネジメントシステムの手引きを土幌町の公式ホームページに掲載しました。

（<http://www.shihoro.jp> 「まちからのお知らせ」のページに掲載してます。）

## ○平成 23 年度監査の所見

平成 23 年度の独自目標を監査した結果、エコアクション部門は「概ね良好」、エコマネジメント部門およびエコガバナンス部門は「良好」と評価しました。

エコアクションの取り組みについては、ノー・マイカー・デー、公用車燃料使用量、水道使用量の目標が達成された一方、温室効果ガス排出量および電気使用量、廃棄物排出量は目標を達成できませんでした。

ノー・マイカー・デーは、1 人あたり年間徒歩日数 12 日の目標に対して、集計値では 69.8 日でした。運用の手引きに定められた日だけでなく、日常的にマイカー通勤を控えることが習慣化されてきたようです。公用車燃料については、9 月に発生した台風で町内各所が大きな被害を受け、建設課と産業振興課で公用車の出動回数が増えたことで軽油の使用量が増加しましたが、エコカーの割合が増えたことでガソリン使用量が減り、全体としては使用量が削減されています。

温室効果ガス排出量の増加に最も影響したのは A 重油です。特に特養ホームで使用量が増加していますが、昨冬の冷え込みに加えて、基準年（平成 20 年度）に給油のタイミングが前後にずれて見かけの使用量が少なかったことが背景にある可能性があります。

電気使用量の増加が特に大きかったのは、認定子ども園と士幌高校です。認定子ども園は平成 22 年度から発達支援センターを開設したことが要因です。士幌高校は夏季休業中に校舎の耐震工事と給排水工事を実施しており、この工事のために電気使用が増えたと見られます。また、中士幌小学校では凍結防止のための電気パネルを設置したことによって、中央中学校ではパソコンを更新したことで生徒が利用する回数が増えたことによって、それぞれ電気使用量が増加しています。いずれもやむを得ない事情によるものと判断できますが、佐倉小学校では増加の要因を特定できていませんでした。職員の異動は避けられないので、LAS-E に関する文書以外にも、職場を取り巻く状況の変化についても記録を残し、引継ぎを確実にすることを心がけていただきたいと思います。

廃棄物発生量については、国保病院の入院患者の増加による影響が出ています。また保健福祉センターでは、書類・書庫の整理により一時的に多量の廃棄物が出たこと、休憩スペースの利用者が増えてきたことにより、廃棄物発生量が増えました。町民による公共施設利用が増えることは望ましいですが、サービスを損なわない範囲で環境配慮への協力を求めることも必要です。利用者にごみの持ち帰りと呼びかけ、その背景として LAS-E に取り組む意義を伝えていくことで、町全体に環境への意識が広まると考えられます。

エコマネジメントの取り組みについては、職員研修も取組状況の確認も計画通り実施されています。研修をより効果的なものにするため、研修テーマとエコアクションの取り組みを関連づけることを検討してはいかがでしょうか。例えば、職員が正しいエコドライブの知識と技術を身につければ、公用車燃料使用量の更なる削減と家庭における実践が期待されます。職員の関心も聞きながら、行動に繋がる研修方法を検討してください。

エコガバナンスについては、広報誌上で環境ニュースの発行が計画通り行なわれています。しかし、町が LAS-E に取り組んでいることはまだまだ町民に認知されていないのが現状です。平成 24 年度からは、公共施設を利用する町民に対しても環境配慮の取り組みを求めることになりました。町の環境への取り組みを町民に広く知ってもらい、理解と協力を得るためにも、広報誌に大きなスペースを割いて LAS-E について紹介する記事を出してください。

平成 24 年度は、昨年以上に電力不足が懸念される厳しい年になります。これまでの取り組みが徹底されていることで、更なるエネルギー使用の削減は困難と思われます。再生可能エネルギーや省エネ型設備のより積極的な導入や、職員だけでなく町民とも協力した省エネ活動など、多方面に展開することで目標達成されることを期待します。

今年度より第 2 ステージ第 1 ステップの一部に取り組む内容で運用しています。第 2 ステージでは、地域全体を対象とするものとなり、町の環境政策を推し進めるため、公共施設を利用される住民の皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

